

## ◆奨励賞◆

### 踏み出す勇氣

大住 中学校 二年

風間 咲希

自分の意見を發表することが大切な世の中。そんな中、私は自分の意見を發表することが苦手だ。ただ嫌な訳ではない。誰かに笑われたら嫌。發表したら、何かの拍子に嫌われるかも知れない。それが、嫌。どうしてもそう考えてしまう。結局そういった負の考えが積み重なって、今、私は人の前で自分の意見を發表することが苦手な人間になっている。そんな私でも、人前で意見を發表することが大切なのは分かっている。しかし、勇氣が出ないのだ。

最近そんな私は、変わろう、と思い始めている。ずっと悪いことばかり考えて踏み出さずにいても、何も変わらない。何も言わない人間の意見など、まず分らないのだから。何か決め事をしたりする際、あの時ちゃんと言っておけば、言えていれば、と後悔したことは何度もある。決まった後から変えることはできない。それがもっと大きな話であれば、後から変えることなど、さらにできない。自分の行動に責任を持たなければいけないのだ。これから、自分の行動で後悔するようなことはしたくない。そのためにも、自分の意見を人前で發表する必要があるのではないか。

私はそう考え始めてから、少しでも自分の思ったことを伝えるように心がけている。笑われてもいいじゃないか、それが私の意見なのだから。そう思うと、少し怖さはあるものの、以前より意見を發表することに対して

の重い印象が軽くなる。いざ發表してみると、拍手が起こったり、自分の意見に賛成してくれたりする。自分が思っているほど、周囲の人たちの反応は悪くない。言って良かった、と思える。自分の考えを認められた気がして、とても嬉しい。今だって、ハキハキと意見を言える訳ではない。苦手な方である。意見を發表するとなると、緊張する。人の前に立って發表するなど、さらに緊張してしまう。しかし、言わなければ始まらない。その時には、多大な勇氣が必要になるだろう。だからと言って言わなければ後悔する。

自分の意見を發表することが大切な世の中。ずっと、私はどうせ言えないから、と諦めていた。しかし、それではいけない。何でも、自分の意見を主張することは大切である。

意見を發表することが求められる今、私も変わっていきたいと思う。変わるというすぐに人は変わらない。できるところから踏んでいく。そこにも責任はある。自分の意見を發表できるようにするために。